

はたらく ことば

今日の埃

くすくす笑う。
まっすぐ目を向けると、
足をおりまげ
「ママができて3センチ背が高くなったよ。痛いんや。」
顔をしかめてから、くすくす笑う。
帯を持って、
廊下には塵ひとつない。
右足から左足へ重心をうつしながら、
ゆっくりと今日の埃を集める人。

廊下で清掃の人であって

2005.12.20-2006.1.18

個人・上司関係世代 × グラフィックデザイナー - 杉崎真之助

はたらく ことば

財布の中身

さぐる。
考え方をさぐりながら、
夜になる。
おりあいをつつけるために、
じつくりと人と話す。
さぐる。
折ったところで知恵を融る。
財布の中身に
仕切りをつけていく。
瞬知が揺れる。
眼鏡拭きの雨が降る。
財布が軽くなる。
ある日、
水たまりは空を映す。

健康福祉部 総務課 予算グループを訪ねて

2005.12.20-2006.1.18

個人・上司関係世代 × グラフィックデザイナー - 杉崎真之助

はたらく ことば

みつめあって聴く

不思議なこと。
耳だけで聴くのではない。
まばたきを忘れるほどに目で聴き、
細胞のリズムをその人にあわせ全身で聴く。
ここで聴く。
ちゅと聴いていると、
相手は言葉めぐるながら、道の入り口を
自分でみつめていく。
透明な扉をたたき、
扉の向こうに歩いている。
振りかざさない人の背中を見送り、
耳をそっと聳む。

健康福祉部 医務・福祉指導室 医療対策課を訪ねて

2005.12.20-2006.1.18

個人・上司関係世代 × グラフィックデザイナー - 杉崎真之助

2006

Osaka prefectural office
Words of Working

exhibition

Designed by Shinnoske Inc.

SHINOSKE INC.



2006

Osaka prefectural office
Words of Working

exhibition

Designed by Shinnoske Inc.

SHINOSKE INC.



ことばはたらく はたらくことば

展覧会 「はたらくことば」

詩人・上田俊彦代 × グラフィックデザイナー・杉崎真之助

大阪府庁本館 地下1階～6階の廊下
2005年12月20日(火)～2006年1月18日(水)
12月29日～1月3日と土日祝は除く
午前9時～午後5時

上田俊彦代(詩人・読者家)
http://www.kanayo-net.com
1969年生まれ。3歳より読書。17歳から読書をはじめ、平成4年
から本職イベント企画制作、ワークショップを手がける。読書推進委員や
読書家、読者、一般読者、中央文化学院のワークショップ(文)
部、読書家としてのコラボレーションやその活動。読心人が
読書家として、読者のデザインスタイルを提案。平成13年から読書
推進委員として、読書推進に活動。読書推進委員を務め、平成16
年「NPO法人ことばはたらくことばの創設」設立。「自立と仕事と読書
とを推進する会」に、ホームページ制作等の活動に参加。読書
推進委員として「読書推進委員会」に、「読心と読書」を
読書推進委員による読書への関わりを促す。

杉崎真之助(グラフィックデザイナー)
http://www.whimz.jp/biography/index.html
大阪府立大学デザイン学科卒業。独立制作家代表、読書クラ
フィック推進(AIG)、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)、東
タイポグラフィック・スタジオ(TDC)、日本タイポグラフィック協
会(JTAA)読書デザイナー協会(BAD)の委員。読心推進委員。東
大阪府立大学などで読書、読書推進委員として読書のデザインを
多く手がけ、タイポグラフィックや書体制作の得意なデザイナー。近年は
読書推進委員の活動にも積極的に参加。読心で読書推進委員の活動
を推進し、読書のグラフィックデザイナーにも多く参加。ニューズ
ADC賞、ボクスタートイベントデザイン、読心推進委員グラフィック
デザイナー、読心推進委員、読心推進委員グラフィックデザイナー

2005.12.20-2006.1.18

詩人・上田俊彦代 × グラフィックデザイナー・杉崎真之助

大阪府庁本館 地下1階～6階の廊下
2005年12月20日(火)～2006年1月18日(水)
12月29日～1月3日と土日祝は除く
午前9時～午後5時

はたらく ことば

はたらくことばのうた

今日がきのうになって
あしたは今日になって
「おはよう」の太陽が「さよなら」と手をふって
またあうとき「おはよう」がやってくる

もうすぐ あさがくるとよ
いつだって あさがくるとよ

誰かが ふとんから起きだして
誰かが はたけを耕し
誰かが 汗をながして 道をつくり
誰かが 知恵をしぼって 書類をつくり
誰かが 橋をかけて
誰かの 働きが みんなのまいにちを動かしている
誰かが 誰かをおもっても おもわなくても
誰かのいのちを つないでいるよ 働くまいにち

「はたらくことば」とは

大阪府議会傍聴に6日間通い、府庁職員23名にインタビューし、その言葉に對峙し詩作に取り組んだ上田俊彦代は、
ここで生きていること、自らの生をひきうけていく意志を詩に託します。グラフィックデザイナー・杉崎真之助は、点
字を使うという条件のもと、上田の詩の言葉を配置し、視線とココロをつなぎとめるデザインワーク作品を制作し
ました。人々がさまざまな立場や思いで働き、暮らす大阪の街が息する今日、かけがえのない今という時間の前で、
この社会意識へのコミットメントを図るアートプロジェクト「はたらくことば」。

2005.12.20-2006.1.18

詩人・上田俊彦代 × グラフィックデザイナー・杉崎真之助

大阪府庁本館 地下1階～6階の廊下
2005年12月20日(火)～2006年1月18日(水)
12月29日～1月3日と土日祝は除く
午前9時～午後5時

はたらく ことば

展覧会「はたらくことば」

会場 大阪府庁本館 地下1階～6階まで

展示期間 2005年12月20日(火)～

2006年1月18日(水)

*12/29～1/3と土日祝は除く

時間 午前9時～午後5時

オープニングミニライブ

「おひるやすみのはたらくことば」

会場 大阪府庁本館正面玄関

日程 2005年12月20日(火)

時間 午後12時20分～55分

視覚障害者と聴覚者による大阪府庁とアート体験ツアー

「読歩 project#4 はたらくことば」

日程 2006年1月6日(金)

時間 午後1時半～午後4時

読歩 project#4 はたらくことば

主催 読歩 project 実行委員会

共催 特定非営利活動法人ことばはたらくことばの館

後援 社会福祉法人日本ライオンハウス

財団法人大阪府視覚障害者福祉協会

エイブル・アート・ジャパン

大阪 NPO センター

協力 点字サークルつくしんぼ

プロジェクトアドバイザー 広瀬浩二郎

大阪府 大阪実業事業

2005.12.20-2006.1.18

詩人・上田俊彦代 × グラフィックデザイナー・杉崎真之助

大阪府庁本館 地下1階～6階の廊下
2005年12月20日(火)～2006年1月18日(水)
12月29日～1月3日と土日祝は除く
午前9時～午後5時

視覚障害者と聴覚者によるアート参加プログラム
「読歩 project」

読歩 project は、NPO法人 cocoroom 共同代表理事
藤原一雄として読心の中核としてアートプロジェクトを
推進するだけでなく、アートの領域を広げる役割を
果たすとしてアート作品を用い、視覚障害者・聴覚者の両
者がともに、実践し、体験し、認知と理解を広げて
いくきっかけづくりをアーティストとともにプロ
デュースしていきます。